

令和元年度 県南地区介護支援専門員協会 事業計画

〔活動方針〕

平成 18 年 10 月に設立し今年度で 14 年目を迎える当会は職能団体としての存在価値を高め、利用者並びに地域住民の期待に応えることを「当会の在り方」として会員相互の連携により鋭意努力し、役割を果たしてきた。

介護保険施行以後、制度の中核的な役割と言われてきたが、地域包括ケアシステムの推進が求められる現在においても質の高いケアマネジメント、公正中立なケアマネジメントがより強く示されている。とりわけ医療・介護の機能分化と連携の推進において、平時からの医療機関や施設との迅速な情報共有が必須であり、より一層連携の中心となるハブ的な役割として機能として行かなければならない状況である。

昨年度、介護支援専門員の合格者数が秋田県全体で46名と激減したことや今後の制度改正においてご利用者の自己負担導入の審議もされている状況の中で我々1人1人が専門職としてこれからの時代に求められるケアマネジメントを実践し、介護支援専門員の「価値」を自分たちが証明しなければならない。

また、介護保険以外の障がい福祉制度等幅広い分野においても地域課題の把握から社会資源の開発等の地域づくりや地域の介護支援専門員の人材育成等の役割を果たすことが求められており、主任介護支援専門員の質の向上と事業所間での横の繋がりでの連携が必要である。

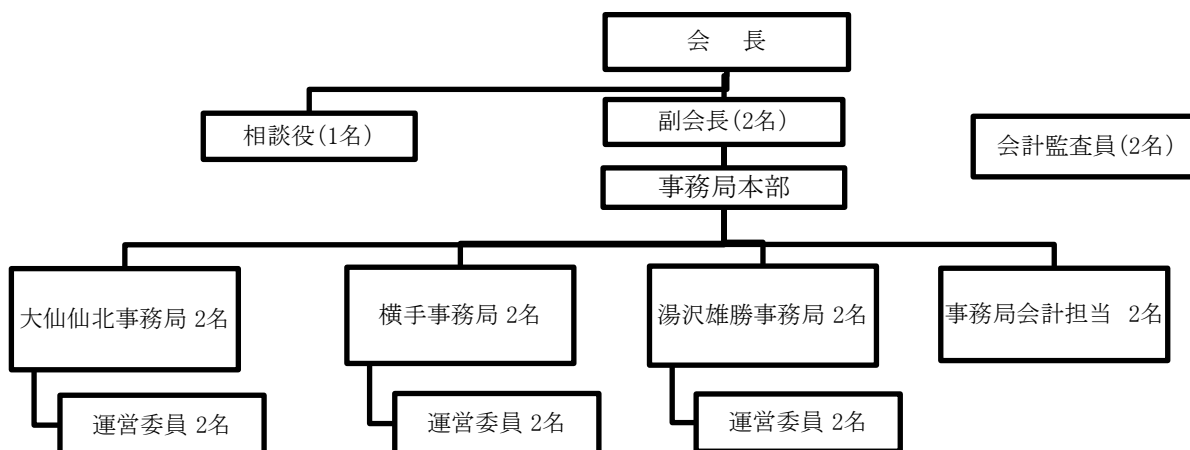
今年度も地区協会として地域の実情や特性に配慮しながら、各圏域単位でできる事を継続し、当会の永続化を視野に入れた組織の在り方、会務運営の構築をすることを第一に当会の進化を図る。各々が介護支援専門員として個々の専門性を向上し、利用者本意のケアマネジメントを実践するために、介護保険制度の研究や地域の社会資源との連携を深め、利用者並びに地域住民の要望に応えることができるよう運営強化を図る。

また、近年見られる様々な自然災害等に対しても各々が意識を高くもち、まずは自分自身の身をしっかりと守りながら会員自身が健康で地域と共に生き、地域の一員として地域に根ざした活動を展開することができるよう各種事業を展開していく。

〔事業計画〕

1. 運営体制

- イ. 県協会との機能分化を念頭におきながら、地区協会として必要な事業内容・規模を明確化し、地区協会として効率的・持続的な組織体制を構築。



- ロ. 入会促進の為、未入会者及び新規会員予備軍への積極的な情報提供。
研修会非会員参加費(1回あたり) 介護支援専門員 5,000円
介護支援専門員以外 2,000円
- ハ. 財政基盤の安定・強化への取り組みの実施(賛助会員の拡大等)
- ニ. 地区協会の独自性と魅力の「見える化」
※県南地区独自のホームページの公開
- ホ. 会の永続化に向けた組織体制の検討
※web や ICT を活用した会員相互の情報伝達と会務の効率化
- ヘ. 実践力対応支援(報酬改定の対応:主任CM研修の検討、各種加算勉強会の検討)
- ト. 他職能団体との共催による勉強会の開催

2. 会務の運営

- イ. 総会(年1回 令和元年6月21日)
- ロ. 役員会・運営委員会 (年5回予定)
- ハ. 研修計画
年2回の研修会(6月、2月)
<内容等>
介護支援専門員はもちろんのこと、多職種共通の様々な問題点を考察し、地域の中での特色を生かし多職種連携促進となるような研修を企画し、地域の幅広い職種がオープン参加できるよう情報提供を実施。

(1)第1回研修会開催日:令和元年6月21日(金)

場 所:ニュー千寿苑

内 容: ケアマネジメント実務の手引き

～施設ケアマネジメントの進め方とポイント～

講 師: 特別養護老人ホーム雄水苑 施設長

日本介護支援専門員協会 介護保険施設部会 部会長

渡部 勝 氏

(2)第3回研修会開催日:令和2年2月14日(予定)

場 所:横手セントラルホテル

内 容:職場コミュニケーション

講 師:職場コミュニケーションの専門家 アンディ中村 氏

ニ. できるケアマネ養成塾(少人数でのスキルアップ研修)の開催

今年度よりリニューアルし、新任のみならず管理者も対象とし、事例検討等少数でのスキルアップセミナーを各々予定

(3回シリーズ:日時調整中)

管理者対象スキルアップ研修

開催日:令和元年11月14日(木)13:30~16:30

場 所:大仙市(会場未定)

内 容:調整中

講 師:あたご研究所 後藤佳苗 氏

3. 各地区への研修等への協賛
4. 上部団体との連携および協力
 - イ. 日本介護支援専門員協会への協力
 - ロ. 秋田県介護支援専門員協会への協力および派遣
5. 関係機関、団体の会議・研修・調査等への参加及び協力
6. その他

令和元年度県南地区介護支援専門員協会予算書

収入

(単位:円)

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備考
1. 会 費	1,223,000	928,000	295,000	<ul style="list-style-type: none"> ・年会費 @8,500 × 82人 = 697,000円 ・日本CM協会入会金 @1,000 × 30人 = 30,000円 ・リコーリース登録者地区協会費返還分 @2,000 × 248 = 496,000円 ※リコーリース登録者248退会6新規30で計算 ※平成30年度分継続会費1名分8500円は令和元年度計上
2. 賛助会費	5,000	5,000	0	・賛助会費 1口 5,000円
3. 助 成 金	464,500	290,000	174,500	<ul style="list-style-type: none"> ・県介護支援専門員協会より164,500円 ※今年度の会員総数、退会者を差し引き329名と見込み。県協会からの助成金を164,500円計上。 ・大曲仙北広域市町村圏組合より300,000円 ※大曲仙北広域市町村圏組合より平成30年度分150,000円、令和元年度分150,000円合わせて計上
4. 雑 収 入	100,000	60,000	40,000	<ul style="list-style-type: none"> ・預金利子 ・研修参加費(非会員)
5. 繰 越 金	120,134	93,575	26,559	
合 計	1,912,634	1,376,575	536,059	

支出

科目	本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備考
1. 会 議 費	200,000	200,000	0	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会 ・事務局会議 ・会場使用費
2. 事 業 費	650,000	480,000	170,000	<ul style="list-style-type: none"> ・総会・第1回研修会 ・第2回研修会 ・できるケアマネ養成塾 ・各地域活動費 ・研修派遣 ※平成30年度分地域ケア従事者研修事業費、44,874円合わせて計上
3. 事 務 費	200,000	150,000	50,000	<ul style="list-style-type: none"> ・通信費 ・リコーリース手数料 ・会員通知 ・運営委員会他 ・事務借上費 ・消耗品 ・封筒作成 ※平成30年度分地域ケア従事者研修事務費、10,000円合わせて計上
4. 全国等会費	563,000	368,000	195,000	<ul style="list-style-type: none"> ・年会費上納分@6,500 × 82人 = 533,000円 ・日本CM協会入会金@1,000 × 30人 = 30,000円
5. 予 備 費	157,634	106,575	51,059	
6. 事務局手当	142,000	72,000	70,000	資料印刷・発送、各種会議調整、会費管理他 ※平成30年度分事務局手当70000円計上
合 計	1,912,634	1,376,575	536,059	